

陰圧療養室完成しました

4月26日、理事の方々等に陰圧室が完成いたしましたので公開しました。
これからも感染症に対して、高い意識を持っていきます！



新型コロナウイルス感染によるクラスター発生を防止するため、感染が疑われる入所者が発生した際に活用しウイルスを含む空気が室外にもれないようにして施設内での感染拡大を防ぎます。

**4月26日に完成した「陰圧療養室の取り扱い研修」を行っています。
施設内での感染拡大を防ぐため職員は真剣に取り組んでいます。**





社会福祉法人 庄川福祉会

ケアポート庄川だより

第7号

令和3年6月15日発行



〒932-0305 富山県砺波市庄川町金屋字岩黒38-1

TEL(0763)82-6868

FAX(0763)82-4192

URL <https://www.shogawa.jp/>

介護老人保健施設 TEL(0763)82-6868

在宅介護支援センター TEL(0763)82-6861

通所リハビリテーション TEL(0763)82-6870

居宅介護支援事業所 TEL(0763)82-6861

デイサービスセンター TEL(0763)82-6871

ボランティア室 TEL(0763)82-6878

予防ひろば TEL(0763)82-6778

デイサービスゆずの木 砺波市庄川町高儀新95-3

TEL(0763)82-6864

新型コロナウイルス感染症に対応した陰圧療養室等を整備しました

新型コロナウイルスによる感染拡大は社会生活に多くの影響を与え、とりわけ医療・介護を取り巻く状況は極めて深刻です。収束の鍵を握るのはワクチンと治療薬であるとも言われていますが、徐々に変異株も感染拡大しつつ、終息への道のりはまだ見えない状況であると考えます。

当法人施設である「介護老人保健施設ケアポート庄川」では、昨年8月の「第2波」拡大期に当時の状況を踏まえ、感染症への対応能力を備えることこそが喫緊に取り組むべき課題であると位置づけ、療養室の一部を陰圧療養室等へ改修する事業を日本財団へ提案しました。その結果、事業主旨をご理解賜り、助成金の交付を受けることができました。

施設内で何らかの要因で感染が疑われる事案若しくは感染者が発生した場合、クラスター発生を防止し命を守ることを第一とした施設でありたい、同時に現場機能を止めてはならない、という方針に積極的なご支援をいただいたものと考えております。

この度の整備によって、入所されている皆様には「より安心したケア」を提供でき、また、ご家族様や地域の皆様にも一層信頼されるケアポートでありたいと思っております。

※陰圧療養室とは？

室内の気圧を室外よりも低くすることで、ウイルス等で汚染された可能性のある空気を室外に逃がさないようにして感染症の拡大を防止します。

役員や報道関係の皆様にご覧いただきました。



◆事業内容

- ・現「療養室」5室を「陰圧療養室」4室及び「防護服脱衣室兼シャワー室」1室に改修
- ・現「静養室」1室を「陰圧静養室」に改修
- ・「非接触型オートロックドア」の設置（5ヶ所）
- ・「スライディングウォール」の設置（1ヶ所）
- ・酸素吸入設備（5室）
- ・陰圧化換気設備（汚染エリア全体）
- ・手洗い、シャワー等衛生設備（脱衣スペース）
- ・その他電気設備工事

◆事業費

42,361千円(工事費39,468千円 設計監理費2,893千円)
上記の内、日本財団助成金30,670千円



【陰圧療養室】

感染が疑われたり感染された入所者が療養していただく居室です。汚染された室内は換気します。また、酸素吸入設備があります。



【差圧計】

陰圧療養室と室外の気圧差を確認できます。



【非接触型オートロックドア】

ドアに触れることなく、感染エリアへ入ることができます。



【脱衣・汚染物処理室】

スタッフが入所者のケアが終わった後、防護服を脱衣する部屋です。また、汚染物を処理し、搬出します。隣にはシャワー室があります。



【シャワー室】

スタッフが入所者のケアが終わった後、シャワーをする部屋です。



【スライディングウォール】

感染者等が発生した時は、感染エリアと非感染エリアを分離します。



【排気操作盤】

陰圧(感染)エリア内の排気を操作します。

ケアポート庄川のシンボルマークをご紹介します

社会福祉総合施設ケアポート庄川は、平成4年に21世紀を展望した高齢者福祉モデル施設として開設し、以来、地域の福祉拠点施設として高齢者の入所・通所のサービスをご利用いただいております。

平成9年には、開設5周年を迎えるにあたり、今後の施設の発展を期し、公募によりケアポート庄川のシンボルマークを決定しました。

最優秀に選ばれたこのデザインは、オレンジ色の楕円は砺波地方の大地を、その中の3人は、中央の入所者を左右の家族と職員・ボランティアが手を取り合って支える姿を、エメラルドグリーンの横縞は庄川の清流を表しており、施設が限りなく発展することを願っているものです。

なお、このシンボルマークは、ケアポート庄川のイメージアップに広く活用しています。

